学校番号	3037

令和５年度　理科

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版　物理基礎（数研出版）						
副教材等	セミナー物理基礎＋物理　（第一学習社）、チェック＆演習 物理基礎（数研出版）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

原理・法則をしっかりと理解し，現象を正確に捉え，イメージする訓練をしてください。また、地道にコツコツと学習してください。物理ができるようになる一番の近道です。物事の本質を探ろうとするプロセスを通して課題に対する前向きな態度・資質を身に付けてください。

２ 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	物理現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探求しようとするとともに、科学的態度を身につけている。	物理現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	物理現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物理現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 小テストの結果 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	力学・波	運動の表し方				○	d: １年次に習った内容を理解し、知識として身に付け、活用できる。	学習状況 小テスト 定期考査
		運動の法則				○		
		仕事と力学的エネルギー				○		
		波の性質				○		
		音				○		
2学期	熱・電気・物理学と社会	熱とエネルギー				○	b: 既習内容を身の回りにあるものと、結び付けて考える。 d: １年次に習った内容を理解し、知識として身に付け、活用できる。また、物理学が社会と密接に結びついていることを理解し、知識を身に付けている。	学習状況 小テスト 定期考査
		物質と電気抵抗				○		
		交流と電磁波				○		
		エネルギーとその利用		○		○		
		物理学が拓く世界		○		○		
3学期	全分野	全分野	○		○	○	a： 身の回りの物理現象に関心をもち、既習内容を結びつけ探求しようといている。 c： 身の回りの事象から、物理学に関する内容を読み解き、物理学的な洞察ができる。 d: １年次に習った内容を理解し、知識として身に付け、活用できる。	学習状況 探究活動 小テスト

※ 表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。